

国会請願署名・募金活動にご協力を

いきいき通信

発行所 東尾張本部
〒461-0011
愛知県名古屋市中区白壁1丁目50番地 愛知県白壁庁舎内

透析患者の願いを届けましょう 「腎疾患総合対策の早期確立を めざそう」

ついでに。

毎年恒例の国会請願・募金活動が行われます。全腎協第四十六次請願行動が、来年三月十六日(木)に行われ、それに向けてのものです。難病連関連の署名・募金も同時にお願ひしています。

毎年恒例の国会請願・募金活動が、行われている現状で、透析医療だけ安泰というわけにはいかず、いかに透析の医療費を抑えるかという課題が重くのしかかっています。全腎協(もちろん愛腎協でも同じです。)では、今の透析医療制度を維持しつつ、透析医療費の増大を防ぐには、慢性腎不全の患者を増やさない、我々のような不便な生活を強いられる患者を増やさないことが大切であると考えています。そのための「腎疾患総合対策」です。その他、透析患者の高齢化に伴う諸問題も請願事項の中にあります。



第四十五次請願の愛知県団

署信用紙の「請願の趣旨」・「腎疾患総合対策のポイント」をよくご理解していただき活動に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

注意

皆様がせっかく集めて頂いた署名の中の3割程が、正当な署名と認められないものがあるようです。少し面倒でも「署名の書き方」に沿って書いていただきますようお願い致します。

愛知県議会署名・募金結果

病院名	署名数(筆)	募金(円)	会員数
藤山台診療所	43	21,700	13
春日井セントラルクリニック	337	30,000	61
春日井クリニック	337	50,000	86
名古屋徳洲会病院	63	20,700	10
光寿会春日井病院	506	158,600	115
坂下クリニック	388	111,621	94
印場クリニック	355	71,300	79
あざい病院	316	62,000	38
公立陶生病院	230	37,300	42
日進クリニック	222	56,000	40
東郷春木クリニック	274	111,500	61
名古屋東クリニック	161	35,500	64
森林公園クリニック	107	18,800	28
瀬戸共立クリニック	238	25,500	71
東尾張本部	3877	810,521	802

県議会署名・募金活動集計結果

夏に皆さんに取り組んでいただいた愛知県議会への陳情署名・募金活動の集計結果が出ましたので、ご報告いたします。東尾張本部の各病院別集計は左表の通りです。

皆様のご協力に感謝申し上げます。集まりました募金は、県議会はじめ各自自治体議会の各政党議員団や自治体への陳情活動費と地区本部活動費に充てさせていただきます。また署名は、愛知県議会議長に直接面会し、切実な声とともに十一月十五日(火)提出しました。

平成28年度上半期東尾張本部収支報告

<収入>

	金額(円)	内訳	備考
前年度繰越金	123,142		3月末現在
地区本部活動費	244,800	798人分	会員数×300円
収入合計	¥ 367,942		

<支出>

科目	金額(円)	年間予算(円)	内訳
活動費	129,871	169,000	CKDキャンペーン・講演会・いきいき通信
会議費	44,887	150,000	支部会議・役員会議・代議員会議
通信費	3,100	10,000	いきいき通信郵送代
消耗品費	10,293	10,400	コピー用紙・インク代・コピー代
慶弔費	5,000	5,000	浦西本部長葬儀香典
雑費		10,000	
支出合計	¥ 193,151	¥ 354,400	予算消化率 54.5%
下期への繰越金		¥174,791	

東尾張本部活動報告 (11月末まで)

- 6月5日(日) 愛腎協女性部と第2支部共催
「災害時に役立つ非常食の調理と試食会」
長久手文化の家にて 40名参加
- 7月31日(日) 第1支部 主催
「春日井市民病院副院長 成瀬友彦医師」による医療講演会
「合併症による心筋梗塞及び石灰化による動脈硬化について」
- 9月6日(日) 第1支部協賛参加
春日井「健康・救急フェスティバル」春日井総合体育館にて
「CKD撲滅キャンペーン」を実施。9,000人来場
- 10月23日(日) 第2支部参加行事
「長久手福祉まつり」ブース出展
「CKD撲滅及び腎移植キャンペーン」を実施。250人にアプローチ
- 10月29日(土)
「東尾張本部役員会議」名古屋東クリニックにて
「上半期活動報告・収支報告」等
- 11月19日(土)・20日(日) 「音楽と共に生命を考える〜」
リブ・フォー・ライフ 協賛参加テントブース出展
愛腎協事務局・青年部・女性部・名古屋本部・東尾張本部第1支部
「本田美奈子基金PKO活動」の骨髄バンクキャンペーンに協力し、
骨髄バンク・骨髄移植と同時にCKD撲滅・腎移植を呼びかける。

いきいき通信発行 4月・6月・8月・10月(15~18号)

十一月十九日〜二十日、名古屋栄広場で「本田美奈子基金」の活動



河村名古屋市長の挨拶

降り心配されましたが、その後は晴れ、多くの来場者に「国会請願」署名も協力いただきました。



に參加しました。骨髄バンク啓発とともに腎臓移植・慢性腎不全撲滅を呼びかけるキャンペーンを行いました。初日の準備時には、雨が



第2支部は、十月二十三日(日)長久手福祉まつりに參加しました。「あなたの腎臓大丈夫ですか」とチェック表を渡しながらか呼びかけました。透析患者しかできない活動を今後も展開していきます。

お薬手帳を使いましょう!

皆さん、薬事管理料(薬剤服用歴管理指導料)をご存知ですか。保険薬局で調剤した場合に、その薬局に調剤報酬点数が付く制度です。その点数の加算が、条件によって差があります。

関係箇所のみ記載
次のすべてを満たす場合・・・38点
◎原則6ヶ月以内に処方箋を持参した患者に対して行った場合
◎手帳を持参した患者
◎調剤基本料を算定する保険薬局

ここで重要なことは、「手帳を持参した」かどうかです。手帳を持参しなかった場合は、点数が50点になります。差は、12点。金額に直すと、120円です。毎月1回の調剤として、県内の透析患者全体では約2,200,000円 年間では約26,400,000円になります。処方箋は、月1回とは限らず2回以上の場合もあるでしょう。また、患者のご家族も掛かりつけの医療機関で処方されるでしょう。それを合わせれば大変な金額が節約できます。個人負担では、120円の3割ですから36円負担とわずかですが、皆が「薬手帳」を使えば、医療費の削減につながります。ぜひ、「お薬手帳」使いましょう。

